

非稼働病床の現況について（泉州二次医療圏）

※過去1年間病床が一度も稼働していない病床を有する病院または過去1年間病床が全て稼働していない有床診療所（非稼働病床等という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病床等の状況			計画		
			病床数	非稼働病床等になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	泉大津市立周産期小児医療センター	泉大津市	132床	令和5年度	令和6年12月より、社会医療法人生長会府中病院との再編・統合に伴い、当院は周産期、小児医療に特化した医療機関へと転換。これに伴い、非稼働病床については令和8年4月までに、社会医療法人生長会府中病院への移管及び廃止を予定。	その他		社会医療法人生長会府中病院の病棟改修が完了した後、非稼働病床132床のうち、71床を令和8年4月までに当該病院へ移管し、残りの61床は廃止する予定。
2	医療法人良秀会 奥村病院	和泉市	27床	令和6年度	医療法人良秀会との合併に伴い、改装及び病床再編のため良秀会系列病院への患者移動を行い、当院病床は一時的に休床としていた。法人合併手続きと改装業者選定に時間を要し、現在もまだ改装めどが立っていない。再稼働に必要な看護師数も確保できていない。	再稼働する。	未定	法人内全体での病床再編計画がまだ定まっていないため。
3	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	和泉市	12床	平成26年度	平成26年4月1日 新棟建設に併せ、狭隘化改善のため本館旧ICUを休止した。	その他		引続き、新センター整備に関し大阪府と協議。
4	医療法人和泉会 和泉丘病院	和泉市	4床	平成元年度	法改正等により 精神科の詰所と一般内科の詰め所を別にしなければならなくなったため。	再稼働する。	未定	再稼働することを目指しているが、その方法・方針については検討中。
5	医療法人良秀会 高石藤井病院	高石市	15床	令和3年度	看護師が不足している。定期的な入職はあるが、同様に退職もあり、再稼働できる人員が揃っていない。	再稼働する。	未定	人員が確保でき次第、稼働を考えている。
6	高石市立診療センター	高石市	16床	平成15年度	開設来、外来診療から開始し市内医療機関との調整の上、入院ニーズに応えるため病床を保持してきたが、外来患者の増加が困難であったため、赤字体質の改善が必要となり診療科の集約化により人員を削減したため、入院対応ができていない。	病棟を削減する又は無床診療所とする。	未定	非稼働中である病床（16床）については、今後、削減に向け、市・財団において検討を行い必要な手続き（保健医療審議会、条例改正、介護保険事業計画策定等）を経て方針を決定する予定。
7	八木レディースクリニック	泉北郡忠岡町	1床	平成18年度	入院が必要となった症例がなかった。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用通りとし、他の目的で使用しない。		母体保護法の指定医療機関の必要条件を満たすために病床が必要。

	医療機関名	所在市区	非稼働病棟等の状況			計画		
			病床数	非稼働病棟等になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
8	医療法人 清名台外科	貝塚市	11床	平成 30 年度	当直医師および看護師の確保が困難であるため。仮に医療従事者を確保できたとしても、経営上の問題で非稼働病床の稼働は困難である。	病棟を削減する又は無床診療所とする。	未定	現在腰椎麻酔下の日帰り手術用に使用しており、今後もこの運用を継続していく予定である。
9	医療法人聖愛会 聖愛クリニック	泉佐野市	1床	平成 11 年度	末期の患者、家族が入院より自宅での看取りを希望されるため。	その他		本年（令和7年）12月31日で閉院予定。
10	和泉南病院	泉南市	48床	令和 4 年度	従事者の採用を進め、看護師は充足してきたが、看護補助者の確保が厳しい状況であり、現状の従事者数では3病棟分の当直体制の確保まで時間を要する。	再稼働する。	未定	昨年度より医療従事者について現在も積極採用し、人員の確保を進めている。 看護師は充足してきたが、看護補助者の確保が昨年に続き厳しい状況である。採用活動に従来の予算以上の経費投入をしている。現状の従事者数では3病棟分の当直体制の確保までかなり時間を要する。 医療従事者の増員をできる限り早く実施し、速やかに非稼働病棟を再稼働させるようにする。
11	医療法人きらめき会 ながまつレディースクリニック	阪南市	13床	令和 2 年度	医師、看護師不足により分娩を中止したため、病棟を休止している。再開に向け模索していたが、その後コロナが蔓延し、コロナが落ち着いた後も医師の働き方改革や看護師ほかの賃金上昇、全体的な物価上昇などで再開の目途が立たず、休止状態を継続中。	その他		病床をすべて再開するか、無床診療所にするか検討中。 分娩を再開するのであれば全ての病床を再開し、分娩を再開しないのであれば無床診療所とするという方針を院内で協議しているが、具体的な時期や方法までは決まっていない。